

領域間カリキュラム・マネジメントにおける実践的研究

—中学校第3学年の体育理論と球技の実践から—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育）

氏名（鷲野 祐一）

これからの時代に求められる保健体育科の授業とは、何だろうか。新学習指導要領において、カリキュラム・マネジメントの充実、体育理論の学習の充実、男女共習化の推進などが示され、知識を基盤として、技能の指導に偏ることなく、より一層運動の楽しさを感じさせるために、教科・領域内の学習を意図的に関連付けた授業を試みた。

本研究では、中学校第3学年における体育理論領域と球技領域を意図的に関連付けた実践から成果と課題を報告すると共に新たな授業モデルを提案することを目的とし、子どもの様子や振り返りを基に検証を行った。すると、理論で学んだ知識を自ら関連付け、ルールや用具を工夫させた。誰もが楽しむことができるスポーツを創造する活動では、思考や試行を通して、体育授業における様々な格差を超える様子がみられた。また、自らスポーツを創造した経験から運動やスポーツとの新たな関わり方を見出すこともできた。今後は、他領域での実践や特別支援学級の生徒も含めて実践をすることが望まれる。